

国際村“Musashi Communication Village (MCV)”で 12/21 (木) 英語による「クリスマスイベント 2017」を開催

武蔵大学（東京都練馬区／学長 山崎哲哉）は、学内の国際村 Musashi Communication Village (MCV) において、武蔵大学・大学院在学学生を対象としたクリスマスイベントを開催します。このイベントは、楽しみながら異文化に触れ、留学生と日本人学生の相互理解、および国際交流の機会を目的としています。

12月には、クリスマスイベントに先立って Tree Trimming（クリスマスツリーの飾りつけ）や Cooking Class（ジンジャーケーキ作り）などのアクティビティも実施する予定です。

「クリスマスイベント 2017」開催概要

日時：2017年12月21日（木）16：20～17：50

場所：武蔵大学 1号館3階 Musashi Communication Village

対象：武蔵大学・大学院在学学生

内容 *すべて英語で実施

□クリスマスをテーマに Talent Show（かくし芸大会）を開催

参加者が特技を披露予定（例：ダンス、クリスマスソングの歌唱、ウクレレの演奏など）

□MCV 村長 & 副村長が審査員となり最優秀パフォーマーは参加者全員の投票により決定

□アメリカの伝統的なクリスマスディナーを体験

□有志の学生によるクリスマスソングとジャズギターの生演奏



◀ 昨年の様子。大勢の学生が集まり、ゲームや留学生によるドイツの伝統的なクリスマス市（いち）に関する発表、クリスマスソングの生演奏などで盛り上がりました

Musashi Communication Village (MCV) とは？

MCV は、英語をはじめとした外国語や異文化を学ぶための国際村です。外国人講師による無料の「少人数英会話レッスン」をはじめ、学生スタッフとの「フリートーク」、個別の「外国語学習カウンセリング」を行っています。また、外国の習慣や文化を体験できる、「異文化体験イベント」のほか、英会話をしながら料理を通してコミュニケーションをする「Cooking Class」など豊富なアクティビティを開催しています。学生が MCV スタッフとして運営に参加することもでき、「グローバル人材力（異文化理解力・企画力・実行力）」を向上させることができます。

【News Release】
報道関係者各位

2017年11月吉日

■武蔵大学〔アクセス：西武池袋線「江古田駅」から徒歩6分〕 ～都心に近く 緑豊かなワンキャンパス～

武蔵大学の前身は、東武鉄道や東京地下鉄道（現東京メトロ）など多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」と呼ばれた根津嘉一郎（初代、1860～1940）が、1922（大正 11）年に私財を投じて創立した日本初の私立旧制七年制武蔵高等学校。戦後の学制改革により、1948（昭和 23）年4月に新制武蔵高等学校、翌年に新制武蔵大学、新制武蔵中学校が開設され、学校法人根津育英会武蔵学園として現在に至る。武蔵大学は、経済、人文、社会の3学部8学科からなる文系総合大学。一年次から4年間のゼミナールが必修で「ゼミの武蔵」といわれる。近年ではロンドン大学の学位が取得できるプログラムや国際村の設置などグローバル教育にも力を入れている。

学長 山崎哲哉 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1

—本件に関するお問い合わせ先—

武蔵大学 広報室 担当：山野・齋藤（やまの・さいとう）

TEL：03-5984-3813 FAX：03-5984-3727 E-mail：pubg-r@mml.sec.musashi.ac.jp